

食育センター整備構想について



小松 大成 議員

【質問】政府は品目横断的価格安定対策の名称を変更し、対策の緩和と同時に、ペナルティーをはじめとした減反強化を打ち出した。市農業へ与える影響をどう捉えているか。農協合併により県北では負債整理を強引に進めた結果、自殺者が出るといった事件も発生した。農協合併にあたっては強引な負債整理をしないよ

うに市としても関係機関に申し入れるべきである。

【市長】品目横断的経営安定対策は政府の米政策に課題を残すものとなった。今後、市町村の特認により「地域水田農業ビジョン」に位置づけられ意欲ある農業者が参加できるよう改正予定である。農協合併を控えての農家負債整理については、農家の納得を得た上で進められていると聞いている。この件においては実態把握に努める。

【質問】建設・整備・運営に関してPFI方式を採用しようとしているが学校給食を主たる業務とする施設整備・運営として妥当か。また、食の安全が保たれるのか。センターの管理運営に市民の意向が積極的に反映される仕組みになっているのか。

【市長】民間の技術や能力を活用したPFI方式を採用する自治体が増えてきている。学校給食センターにおいても多く取り入れられてきているので何ら問題ないと考える。多くの市民の意向を把握し施設整備・運営に反映させ、これまで以上に安全安心な給食を提供できる。

【質問】文部科学省は、15日に学習指導要領改定案を発表した。危惧したとおり改悪教育基本法に基づき国家統制的な色合いとともに、教科によっては大幅な授業時間増となり今後学校現場での混乱も予想されるが対策は。

【教育長】今回の学習指導要領改訂は教育基本法・学校教育法が改定になったことや、わが国の学力低下が指摘されていることが上げられる。道徳教育を充実させるとしているが議員指摘の国家統制色を強めるものではないと理解している。

安心安全の地域づくりについて



菊池 充 議員

【質問】総合防災センター整備計画について、県が1月28日、陸前高田市と遠野市の消防本部を優先的に広域化するとした岩手県消防広域化推進計画の素案を示したが、経緯と整備計画への影響について伺いたい。

【市長】1月23日に県の総合防災室長が来庁し、素案の説明があった。県が示した素案については、現在計画を進めている遠野市消防庁舎の移転改築に影響があるものと考えられるので、動向を見極めながら対応する。一方第3次地震防災緊急事業五カ年計画は内閣総理大臣の同意が得られたと

いうことで、県から通知をいただいております。岩手県消防広域化推進計画とは別の計画であり、変更は生じないものと考えている。

【質問】1月10日の宮守町下宮守桐町地区での火災発生における課題と今後の対応策について伺いたい。

【市長】初期消火も含め水利の確保は最も重要であり、水路の老朽化により、漏水が著しい桐町地区の十分な水利の確保のため、平成20年度予算に調査費を計上したところである。消防団員が活動しやすい環境の整備を充実していただけるよう消防団協力事業所に呼びかけを引き続きお願いしていく。消防団OBなどの機能別消防団員制度については導入する方向で検討する。

【質問】斎場の整備計画について、民間活力の導入を視野に、清潔感と品格と安らぎのある施設整備の構想について伺いたい。

【市長】斎場は昭和54年から使用開始し、老朽化が進んでおり、平成22年度までの前期基本計画の期間中に整備することとし、新年度には基本構想を策定し、周辺環境に配慮した建設候補地の選定を進めるほか、紫波町で計画しているPFI方式も参考にしながら検討を重ね、計画的に整備を進めていく。



▲老朽化し整備が検討されている給食センター